

新建福岡・NOW

第6号 2013.05

発行元
新建築家技術者集団
福岡支部事務局
〒815-0041
福岡市南区野間 3-9-20-4F
[ケイ・プラッツ内]
Tel/Fax 092-541-8128
HP : shinken-fukuoka.net

「新建奈良・福岡 春は花見じゃ！ 吉野山編」

※各地の詳細は次頁以降

去る4月13、14日にかけて、以前より新建奈良支部と福岡支部との交流会で企画をしていた「新建奈良・福岡 春は花見じゃ！ 吉野山編」に福岡支部より片井、矢野、沖本、鹿瀬島+飛び入りのパーティー大石くんの5名で参加してきました。

出発の朝は、関空についたとたん突然地震で電車がストップしていたというハプニングもありました。無事に吉野の地に到着したものの、河川敷の下まで駐車場が満杯とは…。奈良支部さんのおかげで駐車場も確保いただき、立派な吉野山のテキストも用意していただいて、シャトルバスでいざ吉野山へ！残念ながら満開の「吉野の桜」は見られませんでした。絶好のお天気に恵まれて、新緑を楽しみながら蔵王堂などの寺社仏閣も案内していただきました。ご案内のジョージ先生有り難うございました！(^-^)/

その夜は五條新町の源兵衛というお店で奈良支部の方々との交流会。山菜料理の数々は珍しい山野草が一杯で、旬の料理を目も舌も楽しめたお店でした。室礼も素晴らしく、その豊かな空間の中で新建の活動についてや支部の状況や悩みについてなど、美味しい食事やお酒を楽しみながらゆったりとした時間を満喫出来ました。奈良支部の方々、お忙しい中大変ありがとうございました。次回もぜひ！！

翌日はどこに行こうかという事になり、午前中は五條新町の街並を見学し、やはりまずは奈良らしいところと、飛鳥の石舞台古墳を観光に訪れました。午後からは伝建地区の橿原市の今井町を見学しましたが、ここもまた素晴らしい寺内町で、江戸時代にタイムスリップした感覚を味わう事が出来ました。

帰りの最後は少し時間があつたので、古川さんの故郷の「岸和田だんじり会館」を見てみようか？となったのですが、閉館時間だったため、偶然訪れる事になったのが大阪の「田尻町歴史館」でした。その歴史と共に、和洋のお庭やステンドグラスに飾られたインテリアも素晴らしい建物で、洋館と和風の建物が見事に調和していました。管理者の方にお伺いした所有者だった谷口房蔵氏のお話も感動的で、旅の締めくくりに相応しい良い出会いとなりました。

文責：鹿瀬島



新建奈良支部交流会 “吉野山見学 編”

4月13日当日早朝の淡路近辺震度5強という知らせにもめげず、吉野山にたどり着きました。奈良支部会員の方々にごあいさつして、支部会員の知人で今回の花見のために、わざわざおいでいただいた地元の歴史文化の案内をしてくださる通称ジョージ氏から手作りの分厚い資料を頂いて、詳しく丁寧に吉野山を案内していただきました。目の前を流れる川は「吉野川」です。この川は奈良から和歌山に県境を越えると「紀ノ川」という名に代わります。昔この川を下って吉野杉を商都大阪に運搬するのに、「紀ノ川」が通行料を負けようとしなかった為に、未だに県境の住民同士の仲が悪いのだそうです。私たちが行った日は吉野山開祖の役(えんの)行者が開いた蔵王堂の御開帳の日に当たっており、蔵王権現に御参り出来ました。権現とは、お釈迦様や菩薩様が権に現れた姿のことを言うそうで、釈迦如来・千手観世音菩薩・弥勒菩薩のそれぞれが過去・現在・未来の三世を救済にこの世に現れた姿が権現さまだということです。以後桜の苗木は寄進として植えられ続け、吉野山の千本桜にいたるお話は、まだまだ奥が深いのです。という訳で「へえ〜」がっぱいの楽しいお話を沢山伺いました。奈良支部の皆さま、ジョージさま、本当にお世話になりました。



1	2	3
4	5	6

- 1. 吉野川
- 2. 上の千本
- 3. お昼ごはん
- 4. 金峯山寺
山門下は
人出一杯
- 5. 下の千本
咲残り桜
- 6. 中の千本



吉野山が桜の名所となったのは、今から1300年前、役行者が金峯山寺を開くとき、感得した蔵王権現を桜の木に刻んだことから、ご神木として保護されてきました。

現在200種約3万本、多くがシロヤマザクラ。若葉と同じくして開花するので、凛とした気品が感じられます。(吉野町HPより)

その夜、大和五条で奈良支部の皆さんと「源平衛」ですばらしい夕餉を堪能し、旅館「藤井館」に宿泊、美味しい朝食をたっぷりいただいて、明日香村の石舞台古墳に向かったのです。



- 7. 蘇我馬子の墓ではと云われている石室入り口
- 8. 石室内部
- 9. 桃の花が咲く生垣の内部が石舞台

報告者
沖本

2013 春 花に酔い 酒にしのお “大和 五條編”

吉野を堪能後、車を飛ばし本日の宿、五條市へ。

奈良県南西部に位置し、古くから大和と紀州を結ぶ交通の要として栄えてきた五條。

奈良支部の方々が待つ懇親会会場、源平衛は、当時のまちなみを残す新町通りに、小さな灯りで私たちを迎えてくれました。

門を抜けた路地は、客室から漏れる光だけでほのかに照らされ、奥へと進むあのわくわく感は、もうそれだけで胸があつくなり、ただただひたっていたい思いでした。

地元の野菜づくしに、旨い酒に、そしてなによりも、奈良支部の皆さんの熱いおもいに触れ、おなかも心もいっぱい、夜の五條を宿へともどってまいりました。



“田尻番外編”

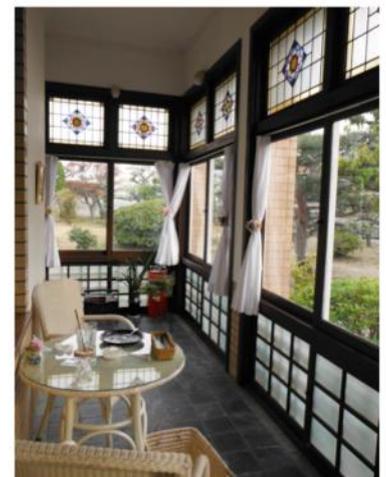
人生も映画も、番外編におおいな感動がひそんでいたりするものです。

奈良でのスケジュールを大満足で終え、関空への帰路、おまけコースを探してくれたその第1候補の地へ到着すると、残念ながら既に閉館の時間で、あーあ、前もっての計画でないと、こんなもんだよねと納得。第2候補、田尻歴史館へ。

奥にたたずむ洋館の、アプローチの石張りの斬新さにみとれながら、再びあのわくわく感がやってきたのです。

装飾の重厚さとエレガントな趣き、遊び心いっぱい、かつ上品な空間、カフェでいただいたスイーツのこれまた美味に、5人もう大感激。

ちなみに、この館はウェディングにも利用できるとか。



どなたか、ご招待お待ちしております！

最後に、奈良支部の皆さん、本当にありがとうございました。

矢野 安希子

新建奈良支部交流会 “橿原市今井町 編”

かつて「大和の金は今井に七分」といわれるほど繁栄した今井町。一向宗の布教拠点として誕生し、都市計画のもと寺内町として発展した町だという事でした
現在も町の大半の町家が大切に保存され、江戸時代の姿を残していました。



沖本さん作
駕与丁公園バラ園の写真です

